

[プレ企画]

Happy Birthday アマデウス! ニューイヤー・プレコンサート

ミニ・コンサート

モーツァルトの誕生日(1756.1.27)に贈る、
2日後のニューイヤーコンサートへのイントロダクション、
60分のミニ・コンサート

Mozart モーツァルト

- プレリユード ハ長調 K284a
- きらきら星の主題による変奏曲 ハ長調 K265
- ピアノ・ソナタ第12番 ヘ長調 K332
- ヴァイオリン・ソナタ ホ短調 K304

2022年1月27日[木] 19:00 開演 (18:30 開場) 会場:メインホール

出演 フォルテピアノ:宮崎貴子 ヴァイオリン:毛利文香

チケット料金 1,000円(全席自由)
チケット発売開始 2021年11月20日[土]
1/29[土]のコンサートをご購入のお客様は無料でご鑑賞いただけます。

mini concert



宮崎貴子
Takako Miyazaki
Pianoforte

毛利文香
Fumika Mobri
Violin

使用楽器:A.ワルター 1800年モデルの復元楽器
(コーバルト兄弟製作)

公開リハーサル

ミニ・コンサートのリハーサルに、
小さなお子様連れのみなさまをご招待します。
お子様とともに、本番さながらに熱のこもった演奏を
繰り広げる公開リハーサルをご堪能ください。

2022年1月27日[木] 14:00~14:45

出演 フォルテピアノ:宮崎貴子

対象 未就学児を持つご家族 定員 30組(応募者多数の場合は抽選)
申込期間 11月20日[土]~2022年1月15日[土] 必着
申込方法 専用の申込用紙にご記入の上、郵送または直接来館にて

キラリふじみ・コンサートシリーズ

ニューイヤーコンサート 2022

軽やかに、厳かに… ウィーンの音楽と戯れる

2022年1月29日[土] 14:00 開演 (13:30 開場)

富士見市民文化会館キラリふじみ メインホール

チケット【全席指定】

一般:4,000円 U-25:3,200円

シニア:3,600円 高校生以下:500円

身体障害者手帳をお持ちの方3,600円(窓口・前売のみ)

*未就学児の入場はご遠慮ください。

*開演後のご入場は、指定された席にご案内できない場合がございます。

チケット発売開始 2021年11月20日[土]

発売開始当日は、窓口9:00から、web予約10:00から。電話は翌日からの取扱い。

チケット取扱い・お問合せ

富士見市民文化会館キラリふじみ

〒354-0021 埼玉県富士見市大字鶴馬 1803-1

TEL 049-268-7788 (電話予約9:00-22:00 / 窓口取扱い9:00-21:00)

<http://www.kirari-fujimi.com/> (web予約、販売あり)

企画:西巻正史 企画協力:株式会社トッパンホール 主催:公益財団法人キラリ財団
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



ご来場の皆さまへお願い:新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応のため、状況に応じた対策をとりながら実施いたします。

当館ホームページの「当館主催事業にご来場のお客様へ」をご参照のうえ、ご来場くださるようお願いいたします。 <http://www.kirari-fujimi.com/view/945>

鶴瀬駅まで

池袋駅から約29分

[東武東上線]

新宿駅から約40分

[山手線/東武東上線]

渋谷駅から約45分

[東京メトロ副都心線

—東武東上線直通]

飯田橋駅から約47分

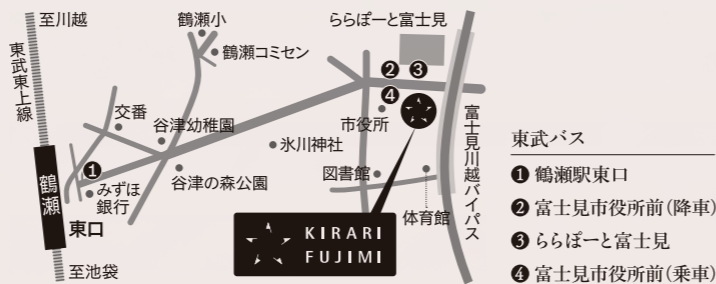
[東京メトロ副都心線

—東武東上線直通]

東京駅から約55分

[東京メトロ丸の内線

/東武東上線]



東武バス

- ① 鶴瀬駅東口
- ② 富士見市役所前(降車)
- ③ ららぽーと富士見
- ④ 富士見市役所前(乗車)

Kirari Fujimi Concert Series

軽やかに、^{おごそ}厳かに… ウィーンの音楽と戯れる



佐野央子
Nakako Sano
Contrabass

田原綾子
Ayako Tabara
Viola

毛利文香
Fumika Mobri
Violin

笹沼樹
Tatsuki Sasanuma
Violoncello

兼重稔宏
Toshibiro Kaneshige
Piano

New Year Concert 2022

キラリふじみ・コンサートシリーズ

ニューイヤーコンサート 2022

Beethoven ベートーヴェン

● 弦楽三重奏のためのセレナード ニ長調 Op.8 Trio Rizzle [毛利文香 Vn 田原綾子 Va 笹沼樹 Vc]

● チェロ・ソナタ第5番 ニ長調 Op.102-2 笹沼樹 Vc 兼重稔宏 Pf

Schubert シューベルト

● ピアノ五重奏曲 イ長調 D667《ます》毛利文香 Vn 田原綾子 Va 笹沼樹 Vc 佐野央子 Cb 兼重稔宏 Pf

1 / 29 2022 sat.

[土] 14:00 開演

富士見市民文化会館
キラリふじみ



2022年こそは、コロナ禍による行動の制約から解放された、いい年であってほしいと誰もが願っていることでしょう。キラリ☆ふじみは4月に開館20周年を控え、本コンサートシリーズも10回を数えます。今回のニューイヤーコンサートは、例年以上に、心新たに華やかに、前を向いて進むプログラムを意識しました。

Ludwig van Beethoven [1770-1827]

コンサートは、ベートーヴェンの若き日の出世作で幕を開けます。前の時代からの伝統を引き継ぎ、当時流行していた“セレナード”という形式の中に、自身の若き野望と、自信をたっぷり盛り込んだベートーヴェン。冒頭楽章、最終楽章に置かれるマーチには、新たな時代への旗振り役を担う意思が感じ取れます。1796年から97年に作曲されたこのセレナードは、ベートーヴェンの生前に13種類もの編曲版が出版されるほどの人気曲で、ウィーンで彼の名を一気に広めたヒット曲。今回は、昨年に続いての出演となる毛利文香、田原綾子、笹沼樹が新たに結成したTrio Rizzleの演奏でお届けします。清新かつ鮮烈な演奏に乞うご期待。

若き日のみならず、生涯にわたって新たな可能性に挑戦し続けたチャレンジャー、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン。続いては、円熟期の作風へと誘います。チェロ・ソナタ第5番ニ長調Op.102-2 (1815)。20年のニューイヤーコンサートで、橘高昌男と入魂のデュオを聴かせた笹沼樹が、ライブツイヒから帰国した精鋭ピアニスト、兼重稔宏との共演で再挑戦。セレナード作曲時からわずか20年弱の間の作風と時代の変化を感じ取っていただきたいと思います。この2曲は、いずれも「ニ長調」。この調性は、もともと華やかで祝祭性に富み、天上の世界の音楽を表すときにも用いられた縁起のいい調でもあります。

Franz Peter Schubert [1797-1828]

プログラム後半は、ベートーヴェンのチェロ・ソナタの4年後にシューベルトによって作曲されたピアノ五重奏曲《ます》(1819)。日本で的人气曲です。ベートーヴェン《セレナード》が作曲された頃、ウィーンに生を受け、生涯ウィーンから一歩も外へ出なかつたシューベルトですが、その代わりにウィーンの街での変化にはことのほか敏感だったに違いありません。ベートーヴェンが叩いたロマン派への扉をシューベルトがさらに大きく押し開けた様を感じとっていただけることと思います。室内楽でコントラバスが活躍するのはめずらしいですが、佐野央子さんの演奏にご注目ください。

前時代の殻を纏ったベートーヴェン《セレナード》から、シューベルト《ます》まで、その間わずか20年ちょっと。しかし、時代は明らかに大きく変化したことを体感していただけると思います。とはいえ、そこは演奏家の腕次第か。。。アーティストのみなさま、よろしく願います。

Wolfgang Amadeus Mozart [1756.1.27-1791.12.5]

ニューイヤーコンサートの2日前の1月27日は、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトのお誕生日。ホールが使えるというお話だったので、プレ企画をご用意しました。地元埼玉在住のフォルテピアノ奏者、宮崎貴子と毛利文香によるモーツァルト作品を集めたミニコンサート。ニューイヤーのチケットご購入の方は、無料でお聴きいただけます。音楽の都ウィーンに集った3人の天才の多感な音楽を、ぜひ聴き比べ、お楽しみください。

トッパンホール プログラミング・ディレクター 西巻正史

Trio Rizzle [トリオ・リズル]

桐朋学園大学の同級生である毛利文香、田原綾子、笹沼樹による弦楽三重奏団。トリオとしての継続的な活動を見据え、トッパンホールによって「Trio Rizzle(トリオ・リズル)」と名付けられた。「Trio Rizzle」とは、シンプルな正方形の紙を、丁寧に折り重ねることで、予想もつかない造形を生み出す日本の「折り紙」に想を得て、三人が織りなす音楽が鶴のように雄大に世界へはばたくことを願い、「トリオ」と「オリヅル」を組み合わせたもの。2021年6月、トッパンホール主催で第1回公演を開催、好評を博した。

毛利文香 Fumika Mohri 《ヴァイオリン》

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コース、洗足学園音楽大学アンサンブルアカデミー修了。慶應義塾大学文学部卒業。これまでに田尻かをり、水野佐知香、原田幸一郎らに師事。2015年より、ドイツ・クロンベルクアカデミーにてミハエラ・マーティンに師事。12年ソウル国際音楽コンクール優勝。15年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第2位、19年モントリオール国際音楽コンクール第3位。横浜文化賞文化・芸術奨励賞、青山音楽賞新人賞、ホテルオークラ音楽賞ほか受賞多数。

田原綾子 Ayako Tahara 《ヴィオラ》

桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学院大学修了。これまでにブルーノ・パスキエ、ファイト・ヘルテンシュタイン、藤原浜雄、岡田仲夫らに師事。2019年度明治安田クオリティオブライフ文化財団海外音楽研修生。第11回東京音楽コンクール第1位、第9回ルーマニア国際音楽コンクールグランプリほか受賞多数。15年度宗次エンジェル基金奨学生、15、16年度ロームミュージックファンデーション奨学生、第47回江副記念財団奨学生。使用楽器は、サントリー芸術財団貸与の“Paolo Antonio Testore”。

笹沼樹 Tatsuki Sasanuma 《チェロ》

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コース修了、学習院大学文学部卒業。桐朋学園大学大学院修士課程修了。現在、同大学修士修了後履修生。NHK交響楽団アカデミー修了。チェロをヴァーツラフ・アダミーラ、古川展生、堤剛、室内楽を磯村和英、山崎伸子らに師事。東京音楽コンクール第2位、ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール第1位。カルテット・アマービレとして、ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位ほか受賞多数。使用楽器は1771年製C.F.Landolfi(宗次コレクション)。

佐野央子 Nakako Sano 《コントラバス》

東京芸術大学卒業、同大学院修了。2006年、ミュンヘンにて研鑽を積む。これまでに、村上満志、永島義男、山本修、ヴォルフガング・ギュトラー、ハインリヒ・ブラウンらに師事。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、セイジ・オザワ松本フェスティバル、東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ in ナント等に参加。全国主要オーケストラの客演首席を務めるほか、ソロ奏者として全国各地で演奏会を開催し、好評を博す。17年9月、サントリーホールにて山田和樹指揮/日本フィルハーモニー交響楽団とソリストとして共演。大澤壽人作曲《コントラバス協奏曲》の世界初演を果たした。現在、東京都交響楽団コントラバス奏者。

兼重稔宏 Toshihiro Kaneshige 《ピアノ》

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学を卒業。2012年より渡独、ライブツイヒ音楽演劇大学修士課程および演奏家課程を最高点にて修了。同大学ピアノ科およびライブツイヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団オーケストラアカデミーの講師を務める。20年帰国。東京芸術大学音楽学部ピアノ科非常勤講師として後進の指導にあたる。第1回Coimbra World Piano Competition優勝。これまでにポローニャ音楽祭、アルテンブルク音楽祭等に出演したほか、ヨーロッパの主要なコンサートホールにて演奏を行う。20年1月、ライブツイヒ・ベートーヴェン生誕250周年記念演奏会にて《ディアベリ変奏曲》を演奏し好評を博した。令和元年度津市文化奨励賞受賞。ゼフィルスピアノ五重奏団メンバー。

宮崎貴子 Takako Miyazaki 《フォルテピアノ》

東京音楽大学ピアノ演奏家コースおよび同大学大学院を経て、ドイツ・ハノーファー音楽演劇メディア大学ピアノ科、同大学古楽器科卒業。同大学修士課程フォルテピアノ科修了。在学中、同大学オペラ科にて伴奏助手を務める。2013年シューベルト国際コンクール(ドルトムント)リートデュオ部門第1位ほか多数入賞。11年ニーダーザクセン歌劇場管弦楽団と共演、13年国際ヘンデル音楽祭(ゲッティンゲン)出演。フォルテピアノ、リート伴奏、女性作曲家作品を軸に演奏、執筆、レクチャー等多彩な活動を展開し、国内外で高い評価を得る。

キラリふじみ・コンサートシリーズとは

*

芸術監督と共に舞台芸術を創作し上演を行う富士見市民文化会館キラリふじみが、上質なコンサートをプロデュースするトッパンホールの西巻正史と共に、実績や才能豊かなアーティストを招聘し、キラリふじみオリジナルの良質なコンサートをお届けするシリーズです。